

第1学年 道徳学習指導案

2025年11月22日土曜日2校時

町田市立小山小学校

指導者 1組(33名) 矢戸 由三子

2組(34名) 川上 玲欧

3組(34名) 宇津 明美

1. ねらい うそをついたりごまかしたりしないで、明るい心で生活しようとする心情を育てる。
「正直、誠実」(学習指導要領の内容)

2. 資料名 「どんぐり」
(出典 東京書籍「あたらしいどうとく」第1学年)

3. 展 開

	学習活動(主な発問と予想される児童・生徒の反応)	指導上の留意点 ☆・・・評価
導 入	1 「うそ」や「ごまかし」について、考えていることを話し合う。 ①「うそ」や「ごまかし」をしたくなるのは、どんなときですか。	○「うそ」や「ごまかし」をしたくなる人の心の弱さを受け止めながら、学習問題を提示する。
展 開	2 「どんぐり」を読んで話し合う。 ①ようすけが寄り道をしてしまったのは、どんな気持ちからでしょう。 ・本当にどんぐりが落ちているか確かめたい。 ・ちょっとならいいかなと思ったから。 ②お母さんにじっと見られたとき、ようすけはどんな気持ちだったでしょう。 ・うそがばれないかな。 ・うそをついたから、お母さんの顔を見られない。 ③さっきよりももっともどきどきしたようすけの心の中は、どんなだったでしょう。 ・また、うそをついてしまった。 ・お母さんに悪いことをしてしまった。 3 自分の生活を振り返る。 ①「うそ」や「ごまかし」について考えられましたか。 ②うそをついたりごまかしたりしたことはありますか。正直になったことはありますか。	○よくないと知りながらしてしまうときの気持ちを多様に考えさせる。 ○「おそかったわね。……」「そう。……」という母親の言葉に触れてから発問する。 ○うそを重ねていくときの気持ちについて話し合わせる。 ☆うそをついてしまったときの心の動きを自分のこととして考えている学習状況を把握する。(ワークシート)
終 末	4 正直、誠実に関わる教師の話を聞く。	○うそをついて後悔した教師の体験を紹介し、人間としての弱さを児童と共有しながらも、正直であることのよさを伝えたい。

※本時は学年の児童の実態に基づき設定されました。

授業内容やねらいとされることについて、ぜひご家庭でも話をする機会を設けていただければと思います。よろしくお願いします。